

2019秋 フランスオーガニックスタディツアー (Marjolaine Bio訪問)

2019年11月2日(土)～11月9日(土) 8日間



写真 上: 屋上菜園、アマップ、オーガニック朝市
下: エコホテル「レ・ゾランジェリー」ランチ、ヌーボーロバンソン外観、街中コンポスト

2019/8/1現在

	期日	都市名	交通機関	時間	行程	食事
1	11/2 (土)	成田 発 パリ 着	AF275 専用車	10:35 16:10	空路、パリへ 到着後、宿泊先へ移動 (※航空券自己手配の場合はホテル集合)	機
					(パリ市内ホテル泊)	
2	11/3 (日)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後	日曜日だけ開催のオーガニック朝市 フリータイム (ホテルからはモンマルトルや各美術館が便利です)	朝
					(パリ市内ホテル泊)	
3	11/4 (月)	パリ	公共交通 徒歩	終日	フランス最大のオーガニックフェア「マルジョレーヌ」訪問 植物の種、食品、家庭用品 (調理器)、寝具、健康用品等、会場内の食事也可	朝
					(パリ市内ホテル泊)	
4	11/5 (火)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後	オーガニック専門店「ビオコプ」など視察 昼食はセルフサービスのオーガニックレストランで。 慈善団体「エマウス」が長期失業者を雇用するリサイクルショップ視察など	朝 昼
					(パリ市内ホテル泊)	
5	11/6 (水)	パリ ポアティエ パリ	列車 専用車 列車	終日	パリの南西へTGVとローカル線で日帰り「世界の車窓から」 エコホテル「レ・ゾランジェリー」のオーガニックフルコースランチを堪能 家族経営の有機畜産農家訪問 パリリヨン駅到着後、軽めの夕食のためにオーガニックデリで買い物など	朝 昼
					(パリ市内ホテル泊)	
6	11/7 (木)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後 夕刻	パリ郊外のエコな町モントルイユへ。 生協型オーガニックスーパー「ヌーボーロバンソン」や公園コンポストほか視察 昼食はオーガニック化を推進する学校給食視察と試食 (依頼中) オルタナティブカフェ、オーガニック専門店、市民農園、アマップ (提携) など 料理のCO2削減を目指すNPO「ボン・プール・クリマ」の会員レストラン「ル・フロリモン」へ	朝 昼 夕
					(パリ市内ホテル泊)	
7	11/8 (金)	パリ 発	AF276 専用車	午前 13:30	(※航空券自己手配の場合は朝食後、ホテル解散) ゆっくりチェックアウト後、空港へ 空路帰国の途へ	朝 機
					(機内泊)	
8	11/9 (土)	成田 着		8:25	通関後、解散 ～ お疲れ様でした ～	機

※上記日程は往復AFを利用した場合のものです。訪問先は機関・施設の都合により、日程・順序及び訪問先が変更になることがあります。

- 協力: 一般社団法人 オーガニックフォーラム ジャパン / 一般社団法人 フードトラストプロジェクト
- 旅行企画・実施: 株式会社 旅倶楽部
- 受託販売・現地プログラム運営: 有限会社リボン<エコツーリズム・ネットワーク>

羽生 のり子 / フリージャーナリスト(在仏コーディネーター)

環境、エコロジー、農業、食物、健康、美術、文化遺産を主な分野とするジャーナリスト。

1991年からフランス在住。環境ジャーナリスト協会、自然とエコロジーのジャーナリスト・作家協会、文化遺産ジャーナリスト協会(いずれもフランス)の会員。共著「世界の田園回帰」(2017年、農文協)。

●オーガニック朝市

パリに数カ所あり、今回はその中でも一番古く一番大きい朝市を回ります。あらゆるものが揃います。

●マルジョレーヌ

IFOAM設立に関わったオーガニック団体「ナチュラル&プログレ」が

母体となってできた、一般向けのオーガニックフェアです。食べ物、衣類、家具、サプリ、コスメ、種のほか、フェアトレード団体、環境NGOもブースを出します。毎日講演会とドキュメンタリー映画の上映があります。

●慈善団体「エマウス」のリサイクルショップ

オルタナやパリの日本語新聞オヴニーに書きましたが、全て無料で引き取り、売れるものは店で、売れないものは工業用の繊維素材に加工して売り、暑い国で売れそうなものはアフリカ支部に送って、売り上げは現地の人の福祉に使ってもらうようにしています。商売でやっているリサイクルショップとは違うポリシーがあります。

●パリ郊外のエコな町

私が住んでいる東の郊外の町で、毎回オーガニックスタディーツアーで訪問するオーガニック生協「レ・ヌーヴォーロバンソン」があるところです。この街はパリとその近郊で使える地域通貨の発祥地で、オーガニック生協でも地域通貨で買い物ができます。また最近、街中に市民の誰もが使えるコンポストボックスができました。秋には、この町に、前回行ったパリの市民生協をモデルにした、もっと小さい生協ができます。市民が農家に前払いして生消提携で野菜などを配布してもらう「アマップ」も盛んです。学校給食は、中央キッチンでできたものを配布し、オーガニック率は国の目標の20%を上回る30%です。

●ビオコープ

再生可能エネルギーに力を入れ、本社屋の屋根にソーラーパネルを設置し、自家発電で使用電力をまかなっている。野菜、果物の8割以上が国産で製品輸送にはエネルギー消費の多い航空便を全く使用しない。環境問題や食の安全に関する独自の記事を掲載した雑誌を店舗で無料配布している。

●ヌーボーロバンソン

1993年にパリ郊外モントルイユに開店。パリ周辺に18店舗ある。

2014年の売上は4353万ユーロ。8000品目以上取り扱っているオーガニックスーパーで、組織は協同組合である。価格は大中のオーガニックスーパーの中では最も安い方に入る。

●エコホテル・レストラン「オランジュリー」

エコラベル認証を得たポワティエ近郊のオーガニックレストランで、地球温暖化ガスの排出を抑制した料理を出しています。

募 集 要 項

■旅行期間:2019年11月2日(土)~11月9日(土)8日間

■現地参加費用:お1人 280,000円(航空券は含まれておりません)

*料金に含まれているもの:宿泊代(2名1室)、視察、食費(朝6、昼3、夕1)など

日程表記載の内容。(海外航空運賃は含まれておりません。)

*料金に含まれていないもの:航空運賃、航空諸税、海外旅行保険、チップ、飲み物他個人的費用他、日程表記載外の内容。(1人部屋をご希望の場合は追加料金は66,000円となります。)

※海外航空券の手配はご希望により承ります。2019年8月7日現在、日程表に記載のAFは約18万円(航空券、燃油SC、航空税等)で購入できますが、購入時期が遅くなると高くなる場合もあります。ご自身で手配され他社便利用の場合は別途お知らせください。現地集合、解散の際の確実な手配の調整をさせていただきます。

■定員:15名(最小催行人員:10名) ■現地コーディネーターと旅程管理者がご案内

■利用航空会社(予定):エールフランス航空(AF) エコノミークラス

■利用ホテル(予定):Hotel del la Porte Doree(パリ)ヴァンセンヌの森周辺のエコロジーなホテル

★一人部屋希望について★ 追加費用(66,000円)でお受けできますが、部屋数に限りがありますので、早めにお申し込みください。また、相部屋希望(主催者にお任せ)でお申込みの方で、同性の参加者の組合せができなかった場合、最後にお申込みの方は一人部屋となります。後日、所定の一人部屋追加料金を請求させていただきますのでご了承下さい。

お問合せ・参加申し込みは・・・

有限会社リボーン<エコツーリズム・ネットワーク> 埼玉県知事登録旅行業第2-1198号 ANTA正会員
〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作3-36-19 TEL 048-687-5455 FAX 048-677-2933

Email: kisora@reborn-japan.com URL: <http://reborn-japan.com> 受付時間: 10:00~17:00 (土日・祝日は休業)